

令和7年度 さいたま市立土呂中学校第2回学校運営協議会議事録

1 日 時 令和7年12月4日（木） 11:38～12:48

2 場 所 土呂中学校 校舎図書館

3 出席者 省略
欠席者 省略

【次 第】

4 学校運営協議会

開会のあいさつ

- (1) 会長あいさつ
- (2) 校長あいさつ
- (3) 生徒会活動報告・意見交換
- (4) 学校概要説明
- (5) チャレンジスクールについて
- (6) 熟議



【テーマ】

「土呂中学校と地域の連携活動」

校長による概要説明

- ①地域のボランティア活動報告（3年目）
- ②秋以降のボランティア活動紹介
- ③ボランティア活動の良さと課題

※付箋と模造紙を活用し、3つのグループに分かれて熟議し、意見をまとめる。

【意見の申出】 グループごとに発表

【提言】

- (7) 本日のまとめ
- (8) 諸連絡

次回 令和8年2月19日（木）

- (9) 閉会のあいさつ

生徒会本部役員による活動報告



5 議事録概要

(1) 熟議のテーマについて

- 今年度のテーマは「土呂中学校と地域の連携活動」
- ・令和6年度の課題から子供たちに身に付けさせたい力
→「ボランティア活動の強化」「地域の力を呼び込む」「敬老会への参加」
- ・学校・家庭・地域が一緒にできること
→地域や公民館などが行う活動に生徒が参加する活動について
- ・土呂中学校の生徒にどのようにになって欲しいか

【発表】

- ・昨年度、ボランティア活動のレールができた。3年間で中学生がいなければ成り立たないということもあり、地域で役に立って欲しい。
- ・地域とのつながりが強くなっている。
- ・ボランティアに参加することで、周りがわかり、地域を知ることができる積極的に参加して欲しい。

【課題】

- ・遅い時間帯や授業中などの募集があると参加できない。
- ・アンケートの中で楽しくなかったと答えている生徒がいるが、ボランティアは楽しむものではなく、自分たちで行動するもの。ボランティアの意味をもう一度確認した方が良い。
- ・内申のためにやるものではない。短時間や長時間など、その時々で時間帯は違うもの。
- ・学区は北区でありながら、見沼区に住んでいる生徒が多いので、共通で対応できるかどうか確認が必要。
- ・町内会でも子供会が無くなっている。
- ・住んでいる所から、自治会館が遠く、参加する機会がない。
- ・情報が伝わってこない。

○子供たちによる発想がボランティアの大切なこと。やりたいことが、地域と合致することが継続できるボランティアではないか。特性を活かすこと。

○主体的な子どもを育てるために、学校が育てたい生徒を地域に発信し、地域に協力してもらいながら実践していくのが、学校運営協議会の基礎となるのではないか。

【提言】

- ・地域に寄り添いながらお助け隊的な活動をしていく。ボランティア活動が、生徒や地域に浸透してきている。
- ・ボランティア活動が尻っぽみにならないように子供たちに考えさせ、将来に向けたボランティア活動となるようにしていく。
- ・子供たちのために、継続していくための内容の工夫をする。

(2) 事務連絡

- ・第3回開催は、2月19日（木）

グループによる発表

